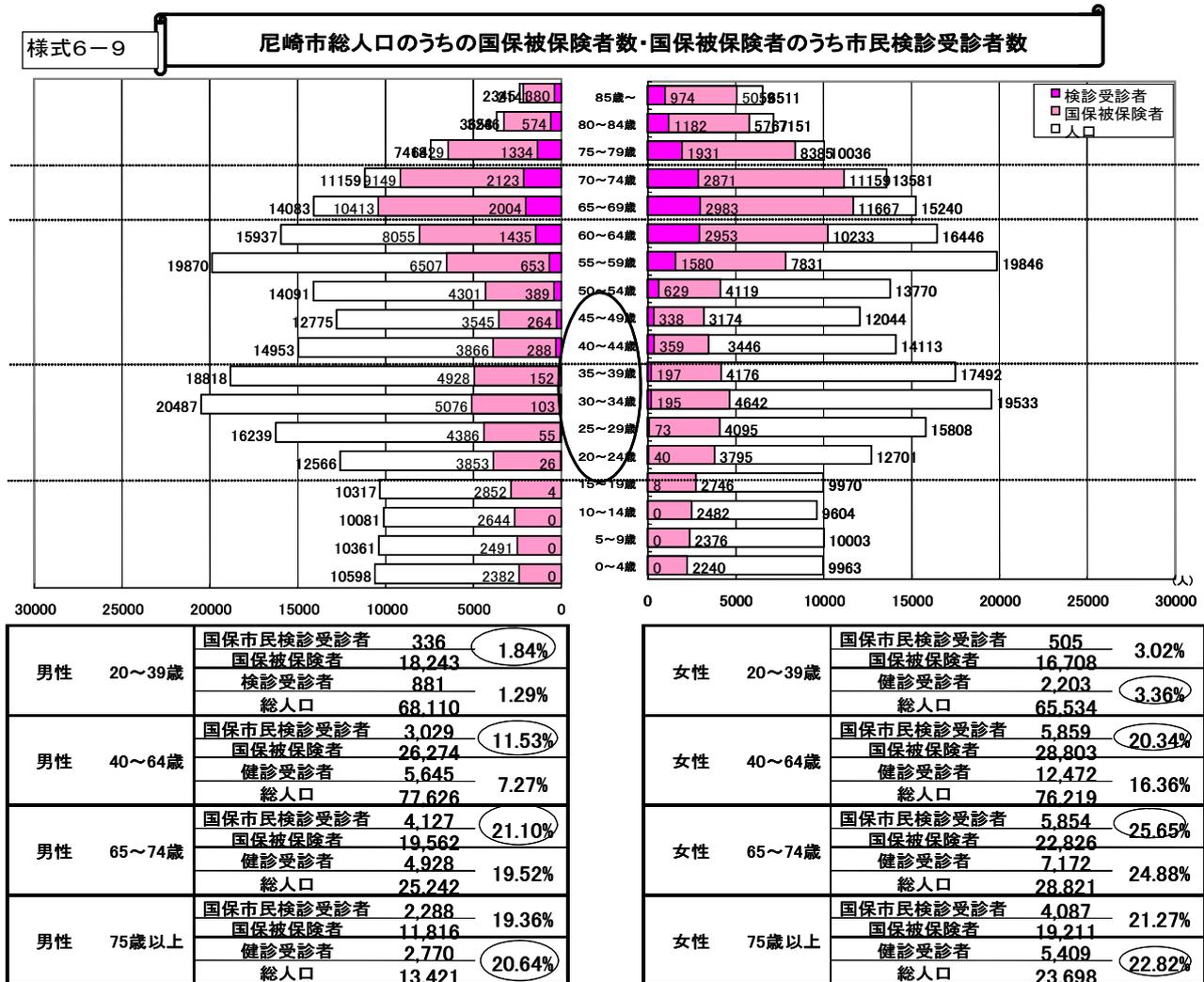


2. 行うことが望ましい分析と評価

1) 健診未受診者の把握

健診実施率を向上させるためにも健診未受診者の実態を把握することが重要である
被保険者数および特定健診受診者の人口ピラミッド（様式6-9）より把握する

例示 以下の表を作成し、未受診者の状況を把握する
5年後、10年後に対象者がどのように変化するかも掴んでおく
（団塊の世代が、企業を退職し、国保に異動することが考えられる）



(尼崎市国保)

健診を受けていない人は、どのような人でしょうか。訪問して会って話をしてみましょう。どうすれば生活習慣病を予防することができるか。話し合ってみましょう。

健診未受診者対策として、長年健診を受けていない人（例えば、5年間一度も受けていないという人）を重点的に訪問したりして、個別に健診受診を呼びかけたり、家族や上司・会社の社長から呼びかけてもらうことも重要である。

保健指導で健診未受診者をどの程度減らせたか、例えば、5年以上受診していない人の数がどの程度減少したか、分析・評価してみましょう。